

ウェブサイト

○ 国立がん研究センター がん情報サービス
<https://ganjoho.jp/>

各種のがんについて、がんと向き合い方、診断・治療方法、緩和ケアについて、病院検索など、さまざまな情報を調べることができます。

○ 大阪国際がんセンター がん対策センター「大阪 がん情報」

<https://oici.jp/ocr/>

大阪府のがん診療の状況や、がん診療拠点病院に関する情報などを紹介しています。病院の検索もできます。


○ 大阪がんええナビ

<http://www.osaka-anavi.jp/>

患者・家族・遺族と患者会支援団体、がんに関わる医療者らにより設立された、がん情報の総合的なポータルサイト。大阪府下の幅広いがん情報を配信しています。

がん検診を受けましょう

早期のがんは自覚症状のない場合が多く、がん検診を受診することが早期発見・治療につながります。

定期的ながん検診を受け、自らの健康状態の確認にお役だて下さい。堺市が実施しているがん検診の受診方法、検査方法、協力医療機関はこちらから → 「堺市けんしん総合サイト」

もしくは、各区の保健センターにお問い合わせください。

堺	☎238-0123	中	☎270-8100
東	☎287-8120	西	☎271-2012
南	☎293-1222	北	☎258-6600
美原	☎362-8681		

がん相談支援センター

がんに関することなら、誰でも、どんなことでも相談できる、がんの相談窓口です。

○ 大阪ろうさい病院

月～金曜日：8時15分～17時00分

堺市北区長曾根町1179-3

TEL:072-252-3561 FAX:072-255-8203

○ 堺市立総合医療センター

月～金曜日：9時00分～16時30分

堺市西区家原寺町1-1-1

TEL:072-272-1199 FAX:072-272-9911

* 手話通訳者がいます。

○ ベルランド総合病院

月～金曜日：9時00分～16時

堺市中区東山500-3

TEL:072-234-2001 FAX:072-234-9109

○ 耳原総合病院

月～金曜日：9時00分～16時

堺市堺区協和町4-465

TEL:072-241-0501 FAX:072-244-3577

まちライブラリープラザひといき

がん関係の本を中心に利用できます。

金曜日：10時～15時

堺市堺区旭ヶ丘中町4-3-1健康福祉プラザ4階

TEL:072-275-5027 FAX:072-243-2222

本リーフレットは「2022年度国立がん研究センター『結ぶ』事業」の協力支援により改訂



正しく知ろう

子宮のがん

子宮頸がん・

子宮体がん(子宮内膜がん)



編集：堺市

堺市立健康福祉プラザ

大阪ろうさい病院

堺市立総合医療センター

協力：国立がん研究センター

発行：堺市立西図書館

堺市西区鳳南町4-444-1

TEL 072-271-2032

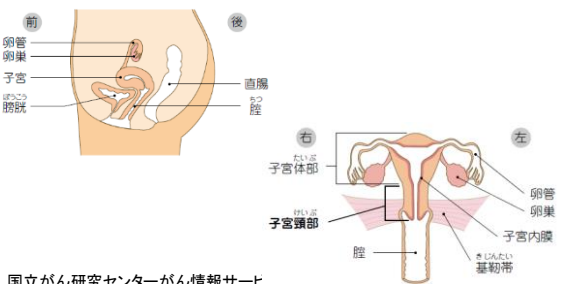
<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/library>

2023年4月1日改訂

※各相談機関の開所曜日や時間は、状況により変更になる可能性があります。

子宮がんとは・・・

子宮がんには、子宮頸がんと子宮体がんがあります。両者は、発生する部位が異なるだけでなく、治療方針や予後が大きく異なります。



国立がん研究センターがん情報サービス
がんの冊子「子宮頸がん」第4版より引用

【子宮頸がんの特徴】

子宮の入り口の子宮頸部と呼ばれる部分から発生します。子宮の入り口付近に発生することが多いので、婦人科の診察で観察や検査がしやすく発見されやすいがんです。また、**早期に見れば、比較的治療しやすく予後の良いがんですが、進行すると治療が難しいので、早期発見が極めて重要です。**20歳代後半から増加して、40歳代でピークを迎え、その後横ばいになります。発生には、その多くにヒトパピローマウイルス（HPV）感染が関連しています。

【子宮体がんの特徴】

胎児を育てる子宮体部の内側にある子宮内膜から発生するもので、子宮内膜がんとも呼ばれます。40歳ごろから増加して、50歳から60歳代でピークを迎えます。

最も多い症状は出血です。また、月経ではない期間や閉経後に出血がある場合は注意が必要です。他には、排尿時の痛みや排尿のしにくさ、性交時の痛み、下腹部の痛みなどの症状があります。検診で行われる検査は子宮頸がんの検査を指すことが多いので、注意が必要です。

※さらに知りたい場合は、
右記の資料をご参照下さい。

ブックリスト（西図書館選定）まちライブラリープラザひといき・堺市立図書館でご利用いただけます

子宮がんってどんな病気

○『子宮頸がん』（2023年3月更新予定）『子宮体がん』第4版（2021年11月）国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部
国立がん研究センター発行の小冊子。受診から診断、治療、経過観察への流れをまとめたもの。【※冊子版・音声版・点字版】

○『最先端治療 子宮がん・卵巣がん』国立がん研究センター中央病院腫瘍内科／[ほか]編著 2021年11月 法研
最先端の診断法や治療法の動向の他に、がんゲノム研究や遺伝性腫瘍についても紹介しています。

○『がん研有明病院 婦人科 最新治療ガイド 子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんと診断されたあなたへ』
金尾祐之／著 新興医学出版社 2020年7月
手術の術式や治療成績の違いなど、外来で聞いてもわかりにくい点に焦点を当てて丁寧に解説されています。

子宮がんの治療について

○『子宮・卵巣がん手術後の100日レシピ 退院後の食事プラン』加藤友康／医療解説 女子栄養大学出版社
2010年12月
帰宅したその日から100日間の食生活をアドバイス。

○『患者必携 がんになったら手にとるガイド 普及新版』国立がん研究センター がん対策情報センター／編著
学研メディカル秀潤社 2013年9月
がんの診断や治療、療養生活で問題や不安が生じたときに必要とされる情報をまとめたガイドブック。
【※書籍版・音声版・点字版】

○『女性のがんと外見ケア』分田 貴子／著 法研 2018年9月
女性に多いがんと治療に伴う副作用について解説。また、肌や爪、頭髮、創あと、体型など、がん治療による見た目の変化への対処法をわかりやすく説明。

子宮がんの闘病記・がんを知る本

○『マンガ がんて死にかけて12年、元気に働いています』たむらようこ／著 日経BP 2021年12月
著者で人気放送作家のたむらようこさんが38歳のときに、子宮頸がんのステージⅢBだと知るところから始まる。

『癌で妊婦で45歳です』森田 美佐子／著 文芸社 2019年1月
子宮頸がんと妊娠が同時に発覚。ハイリスク妊婦の著者は、がんの手術直後、がんが腺がんに行進し広範子宮全摘出と帝王切開での出産が決まる。仕事人間の著者が闘病しながら無事に出産するまでの記録。

○『よくわかるがんの話』①～③ 林 和彦／著 保育社 2019年10月
児童向けに書かれた本だが大人も知りたい「正しいがんに対する知識」をがん専門医が分かりやすく解説。

※がんの冊子PDF・でんし冊子PDF・音声版は国立がん研究センターがん情報サービスホームページからダウンロードできます。点字版は堺市立健康福祉プラザ内、視覚聴覚障害者センターでご利用いただけます。